

一 般 演 題

1. アマレックス MAB フリー T₄ による血中遊離サイロキシシン (Free T₄) の測定

松村 要 高野 勝弘 中西 篤
中川 毅 (三重大・放)

¹²⁵I-抗 T₄ モノクローナル抗体を用いた Free T₄ 濃度測定用キット, アマレックス MAB フリー T₄ (日本コダックダイアグノスティックス社) について基礎的, 臨床的検討を行った. 同一アッセイ内 (n=10) での変動係数 (CV) は 5.3% 以下, 異なるアッセイ間 (n=5) での CV は 10.3% 以下と, 良好な再現性であった. 正常値は 0.92-1.51 ng/dl (mean±2SD) であり, 甲状腺機能亢進症, 低下症をよく分離することができた. 妊婦は正常低値を示し, TBG 減少症例では正常値, または, やや低値を示した. GammaCoat Free T₄ RIA キットによる測定値との相関は $y=1.06x-0.18$, $r=0.95$ と, 良好であった. 本キットは各種甲状腺機能の診断に有用であると考えられた.

2. 腫瘍マーカー CYFRA21-1 の使用経験

楊 景濤 山本 和高 杉本 勝也
高橋 範雄 吉田 正徳 石井 靖
(福井医大・放)

CYFRA21-1 は Cytokeratin 19 に対するモノクローナル抗体によって認識される新しい腫瘍マーカーである. 今回, 肺癌における CYFRA21-1 の有用性を検討するために, 肺癌 32 例 (扁平上皮癌 14 例, 腺癌 15 例, その他 3 例), 肺癌以外の癌 19 例, 良性疾患 12 例の計 63 例, 90 検体を測定し, CEA, SCC と比較した. CYFRA のカットオフ値を 2.0 ng/ml とすると, 陽性率は肺扁平上皮癌 73%, 腺癌 35%, その他 0%, 肺癌以外の癌 17% で, 良性疾患では 0% であった. CYFRA と CEA や SCC の結果とは有意な相関は認められず, 肺扁平上皮癌に対する陽性率は CYFRA がもっとも良好であった. また, 症例は少ないが CYFRA の測定値は癌の進展をよく反映していた. CYFRA は有用な腫瘍マーカーとなりうると考えられた.

3. ¹¹¹In 標識抗 CEA 抗体による免疫シンチグラフィの検討 (第二報)

太田 豊裕 伊藤 健吾 加藤 隆司
広田 英輝 石垣 武男 (名大・放)
田所 匡典 (刈谷総合病院・放)
池田 充 (名大・医療情報)
伊藤 勝基 仲田 和彦 (同・二外)

In 標識抗 CEA 抗体 (CEA102) を用いた放射免疫シンチグラフィを施行し, 本法の有効性につき検討した. 評価可能な 10 病変中, 7 病変において, 陽性描画され, 投与 1 日後より, 腫瘍への良好な集積が認められた. 腫瘍集積は, 血中 CEA 値に依存しなかった. 多方向からのスポット撮影や, SPECT は, 腫瘍と骨が接近している場合の診断に有用であった. 残りの 3 病変は, 最大径 4 cm 以下の腫瘍で, 解像力等の関係もあり検出されなかった. 本法により, 免疫組織学的特性に基づく特異的診断が可能であるが, 骨の影響をさけるためには, 骨集積の少ない ^{99m}Tc 標識抗体が期待される.

4. ⁶⁷Ga シンチグラフィにおける腹部集積の臨床的検討——第 2 報 early image における肝集積との関連——

小林 英敏 大野 晶子 渡部 洋一
(名大分院・放)
新畑 昌滋 太田 豊裕 安藤 容子
石垣 武男 (名大・放)

⁶⁷Ga シンチグラフィにおける腹部集積に影響を与える因子を検討するため, 下剤投与の前処置をしない 30 症例 32 検査について検討した. ⁶⁷Ga シンチグラフィにおける 3 時間後の肝集積ならびに鉄代謝と 48 時間後の腹部集積の関連を検討し, 結果以下の結論を得た.

1. 腸管集積と考えられる腹部集積はトランスフェリン飽和度低値と有意の相関があった.
2. ⁶⁷Ga の早期の肝集積と腸管集積とが相関していることが示唆された.
3. トランスフェリンと結合した ⁶⁷Ga が肝より排泄